

株式会社 三上建築事務所の提案 (1/2)



- ・小さい子から障がいのある子など、どんな子でも一緒に遊べるネット遊具を設けます。
- ・ネット遊具は揺れる、跳ぶ、はう、くぐるなど様々な運動をすることができ、子どもたちの個性に合わせて、自由な遊び方ができます。
- ・身体があまり動かせない子も他の子が生むネットの揺れを感じて、他の子どもと一体感を持って楽しむことができます。



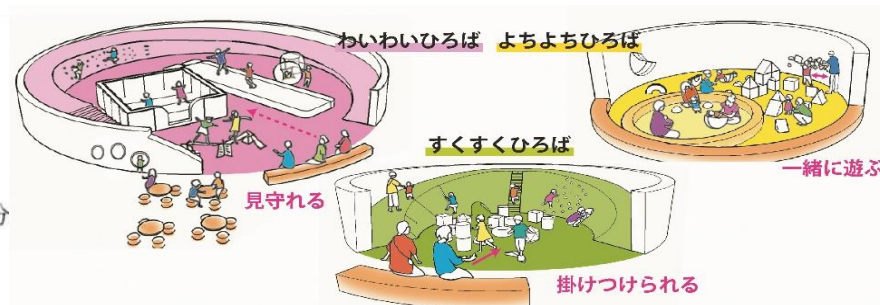
- ・親子で遊べる遊具を用意し、子どもの遊びのルートが親が追いかけられるように複数の経路を用意します。



よちよちひろば
保護者が付き添える場所にします。

すくすくひろば
声が届き、すぐに駆け付けられるように見守り場所を設定します。

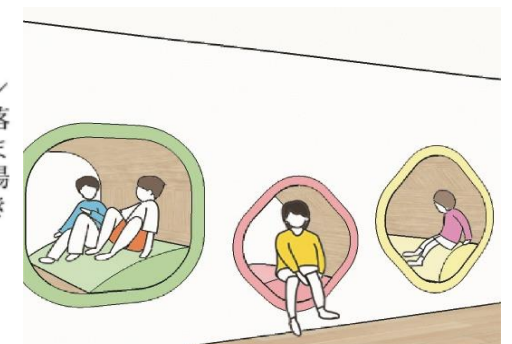
わいわいひろば
子どもたちの動きが活発になるので、自分の子どもがどこにいるのかを確認できるよう見通しのよい空間にします。



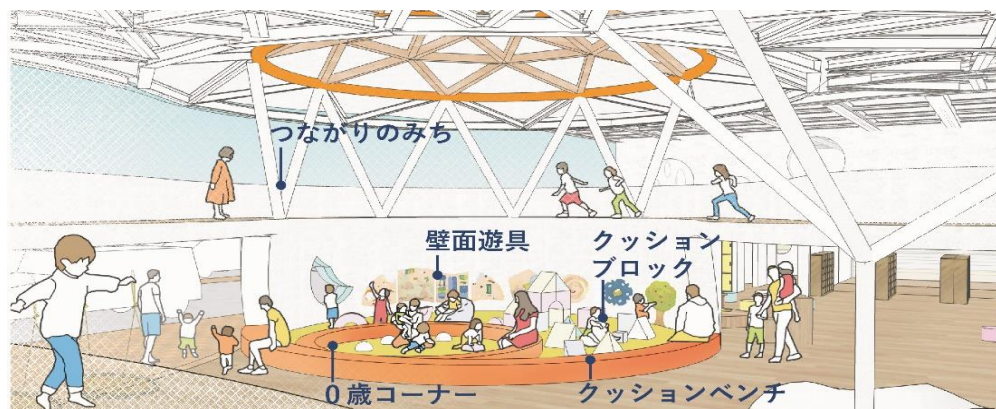
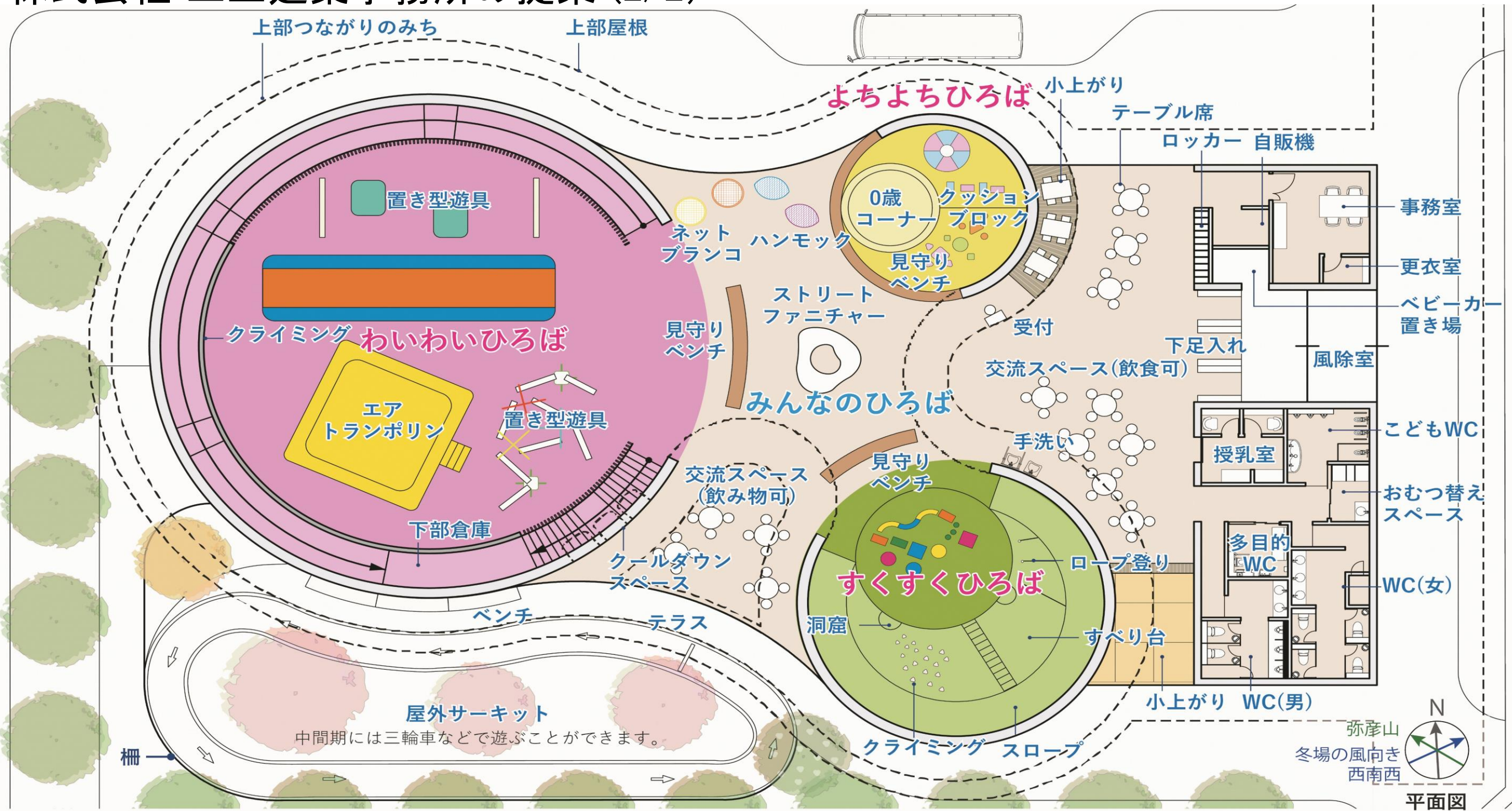
・3つのゾーンをつなぐみんなのひろばには、子どもたちの感性によって、様々な使い方ができるストリートファニチャーを設けます。



- ・遊び場内にクールダウンスペースを設け、心の落ち着ける空間をつくります。また、かくれんぼの場として遊びにも活用できる設えとします。



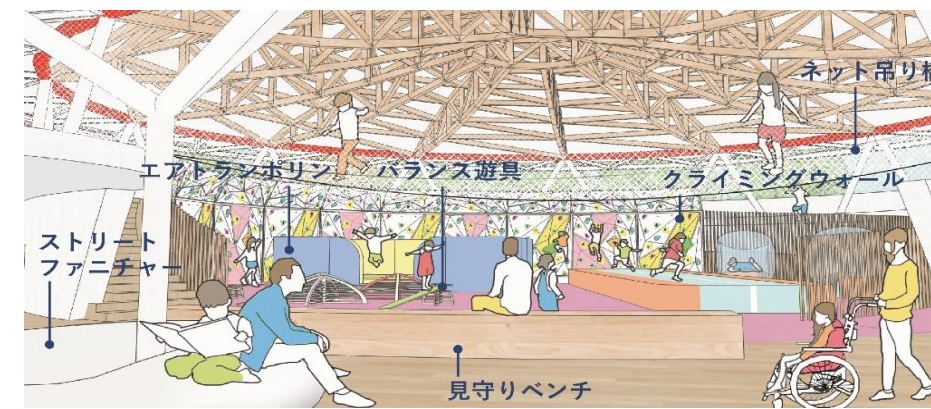
株式会社 三上建築事務所の提案 (2/2)



0~2歳児対象ゾーン



3~5歳児対象ゾーン



6歳児以上対象ゾーン

※実際の設計によっては、内容が変更になる可能性があります。